

保育現場（造形あそび）の実態より 絵画材料・素材の選択による表現効果の多様性について〈色彩基礎〉

満田知美¹

要 約

この研究ノートでは、創造的な保育現場を促進する「絵画材料・素材」の扱い方とその多様性について解説している。前回の兵庫大学論集29号で掲載したテーマの中から「色彩基礎」抽出して論じる。前半は色材の基礎となるクレパスや水彩絵具を使った技法と指導法について報告する。後半は日本画を中心とした制作工程と発表までを報告する。

キーワード：絵画表現色彩基礎、日本画技法

I. はじめに

私は日本画を基軸として画材・材料の表現研究を日々行いながら、本職では造形を担当し、外部では保育現場で就学前園児と造形遊びや幼稚園教諭・保育士の先生と造形表現の研修などを行なっている。

そんな授業や研修の振り返りの中で幼少期に絵を上手く描きたい感情や「上手だね」「綺麗だね」と評価されると嬉しい、自信に繋がったという成功体験の話題によくある。

養成校の学生には毎年、実技科目の初回授業で「造形や絵画制作に対して不安に思う事とその理由について」アンケートを行う。90%以上の学生が「不安である」と答える現状である。しかしなぜこれほどまでに、色や線を使った表現が苦手な学生が多いのかと思えば色彩表現の基礎から丁寧に指導を続けている。

II. 目的

兵庫大学論集29号では保育現場での画材・素材の保存、保管状態や内容を分析し、造形表現への影響及び描画を軸とした報告を行なった。同時

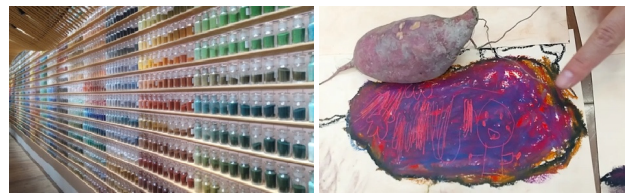


図1. 岩絵具



図2. クレパス画

に最先端と最古の画材、素材について自己表現を例にとりながら応用や多様性について考察した。

今年度はその中から色彩の基礎を中心に絵画表現、日本画表現の可能性について報告する。「リアルに描く、ダイナミックに描く＝上手い」という疑問や概念について明らかにしつつ、更なる自己表現の多様性について報告する。

III. 方法

1. 養成校の学生への指導教材及び指導法の考察
2. 就学前園児・職員研修での考察（A市幼稚園）
3. 子ども絵画教室での考察（K市小学生）
4. 幼児画展での審査と講評（K市、N市）
5. 絵画遊び 植物画（A市保育園）
6. 日本画技法（岩絵具、墨、箔）
7. 成果発表

（セレクト展・神戸市、喜楽会・京都市）

¹ 兵庫大学短期大学部

1. 養成校の学生への指導教材及び指導法の考察

(1) こどもと造形Ⅰ

三原色でもやしを描く

こどもと造形Ⅰ 第5回			
テーマ	色と形を楽しもう！その2 3原色でリアルな野菜（もやし）を描く		
ねらい	基本的に三原色（赤、黄、青）と白、黒の絵の具があれば、無限の色が作り出すことができます。※今回は黒を使用しない。 自分だけの色を作り出す喜びも湧いてくるし、断然モノをよく見るということにもなります。下描きをしない、自然の成り立ち、成長に従って描いていく。植物だったら根と茎の項目、毛のある動物だったら毛の流れの始まりの線。描き始めの一点を決めたらいつもその一点に視点を定め、その隣、その隣というようにつなげて描いていきます。触る感覚で筆を動かす事が大切です。		
準備物（個人）	もやし（乾燥のついでもの）、水彩道具一式、画用紙、ティッシュペーパー		
準備物（集団）	画用紙50（黒）白紙、色チェックシート、見本		
手順	開始	時間	説明
		30分	出次、シラバス、3原色と混色の関係、色チェックシート、もよしの観察、絵の具の混ぜかたと濃筆※ZOOMは2方向から使用します。 ①パレットに赤、黄、青、白を出す。※パレットの使い方。 ②水の混ぜかたと濃筆の練習 ※液体調味料に気える。 ③いろいろな色を作ってみる。※濃筆の癖を知る。 ④色が生まれるならチェックシートに色を塗る。 ⑤塗ったもやしを見ながら、もよしの色を作る。
		25分	①もよしの特徴と成長の方向について観察する。 ②筆の使い方と濃筆を観察し練習する。※濃筆が何度が描けます。 ③白紙で何枚か練習する。
		30分	①黒い紙を半分に切る。一枚は練習、もう一枚は清書 ②黒画用紙の上にもやしを書く（右利きの場合は左寄せ、左利きの場合は右寄せ）もやしと手の間に置く ※本物のもやしから2センチ程度短くをとる。 ③上すく掛けの状態になったら1枚の黒画用紙に1本のもやしを描く。
	終了	5分	回収 提出【作品撮影】をし学習番号と氏名を入力ラインで送信してください その後スケッチブックの新しいページに色のチェックシート、黒画用紙をテープで止める、乾燥させてからスケッチブックを綴じてください。

(2) こどもと造形Ⅱ

エリックカール技法

こどもと造形Ⅱ 第3回			
テーマ	エリックカール②模写3点		
ねらい	ストーリー★日曜日、たまごからかえったあおむしは、おなががべこべこ。たべものを捜し始めます。食べても食べても満腹にならないあおむしでしたが、土曜日には食べ過ぎておなかを壊してしまいます★今日は、多くの紙の引き出しペーパーからイメージに合うビタリとした紙を選び、模写作品に挑みます。 まずはトレーシングペーパーに輪郭を描き、紙の引き出しペーパーの上に置き、切り取る位置を決めます。 次に二枚重ねてカッターでカット。 水で濡らした水筒を作り、筆で紙にベタリとつけ画用紙に貼っていきます。 細かい部分はピンセットを使用。 クレパスでアクセントをつけたら出来上がり！ 汚れとレイアウトに細心の注意をして、美味しそう食べ物を作ります。 時間に余裕があればオリジナルのモチーフに挑戦してみよう。		
準備物（学生）	スケッチブック、水彩道具一式、カッターナイフ、のり、クレパス		
準備物（集団）	紙の引き出しペーパー、カッターマット、丸皿、ピンセット、トレーシングペーパー、模写作品、見本、のり（2枚）ホッチキス		
手順	10分	説明	知識
			レイアウト（リズム、中心、広がり）、糊水、汚れ、カッターナイフの使い方。
			①紙選び 模写作品とストーリーを思い浮かべながら、食べ物のおいしそうな色や濃い・濃い、強い・弱い等をよく観察しながら、2種類選ぶ。
			②トレヘ模写 トレーシングペーパーに模写作品の輪郭を鉛筆で写す。 ※パーツの分割を理解する。
			③紙カット トレーシングペーパーを画用紙の上に置き、分割する部分毎に、二枚に重ねて紙を切り取る。※切ったパーツを無くさないように。
	70分	制作	水と糊をよく混ぜた糊水を作る。水：糊＝2：1 筆は平筆を使用する。 のり紙の上に紙のパーツを置き、裏面に筆を使って糊水をつける。 手で押さえず、紙等をあてがい上手でしっかりと押さえる。 ※汚れた場合の服の汚れの仕方について。 ※時間に余裕があればオリジナルのモチーフをどんとどんと付け加える。
			④貼付け クレパスを使って背景をまともインパクトやバランスを調整する。 ※ソフト：ハード 暖色：寒色 スピード：停止
	10分	回収	スケッチブックを広げて自然乾燥させる。 ※引き出しペーパーは再びホッチキス止めスケッチブックに挟む。

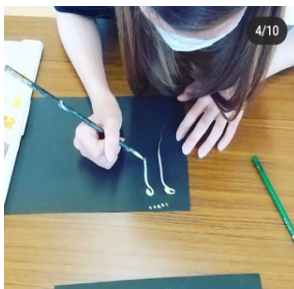


図3. 水彩絵具使用

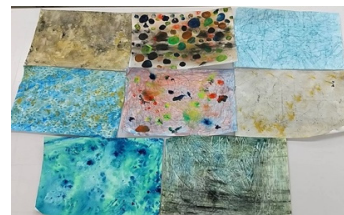


図4. クレパス、パステル使用

(3) こどもと造形Ⅲ

フィンガーペイント

こどもと造形Ⅲ 第7,8回				
テーマ	いろいろの本 ①フィンガーペイント&②海に泳ぐお魚さん			
ねらい	①今日は3原色絵の具(赤、青、黄、白)と指を使い、いろいろの世界を楽しみます。スケッチブックとパレットを用意し指を使い、点や線、引っ掻き、合わせ絵、滲み絵を作ります。②出来上がったら、魚の形に切り取り、グルーガンで目玉をつけブルーの海に放ちます。お魚さんの名前をつけてください。最終的には釣り堀にして遊べる状態にします。			
準備物(学生)	スケッチブック、台拭き、水彩道具一式			
準備物(海田)	①サンプル、霧吹き②ハサミ、グルーガン、ボタン、ブルーシート、ドライヤー			
手順	10分	説明	概要説明	フィンガーペイントとは、読み聞かせ(いろいろのほん)
	60分	フィンガーペイント	制作	①一人一つずつパレットに絵の具(全色)を準備する。台拭き ②スケッチブックとパレットを定位置に置く。 ③先生役が読み聞かせを行う。※聞き手の反応を受け答えしながら進める。 ④点、たくさんの点、線、丸、猫の爪、合わせ絵など自由に制作。※あまり声かけせずに見守る。 ⑤先生役がスケッチブックに雨を降らせる(霧吹き)
	20分	終了	記念撮影	片付け。床に並べてみんなの作品を見る。※発表とまとめ
	70分	お魚さん	展開	①スケッチブックから紙を横半分折流し。好きな魚などの形を決める。※画用紙を半分に折り先生役がこどものリクエストに答えて切り取る。 ②グルーガンでボタンの目玉をつける。※こどもに目玉の位置を決めてもらい、先生がグルーガンでボタンの目玉を接着する。 ③作品の裏にお魚さんの名前と自分の氏名を記入し、ブルーシートの上に魚を放つ。
	10分	終了	記念撮影	片付け ※発表とまとめ



図5. 水彩絵具使用

(4) こども福祉専門演習Ⅰ

絵本の模写

こども福祉専門演習Ⅰ 第12,13,14,15回				
テーマ	イメージを広げる⑤ 模写2 絵本表現を学ぶ。絵本			
ねらい	今日は、お気に入りの絵本模写に挑戦。各自、材料、道具を見極め計画的に制作をしてください。はじめにスケッチブックを広げ、原画とカーボン紙をマスキングテープで固定します。ボールペンで輪郭をなぞり下描きをします。後は各自、色材を選び丁寧に着色します。よく乾燥させ輪郭線を描きます。汚れに細心の注意をはらい仕上げてください。			
準備物(学生)	スケッチブック、絵本、定規、水彩絵具一式、筆、刷毛、カラーインク			
準備物(海田)	カーボン紙、マスキングテープ、絵本コピー、コピー用紙、ドライヤー			
手順	10分	説明	知識	シラバス、道具材料説明
	75分	制作		①絵本、使用材料を各自にセットする。 ②スケッチブックに原画をテープで固定しその下にカーボン紙を置く。 ③ボールペンで輪郭線を丁寧になぞる。 ④着色部分から開始しよく乾燥させる。 ⑤輪郭線を描く。
	5分	提出		清書作品

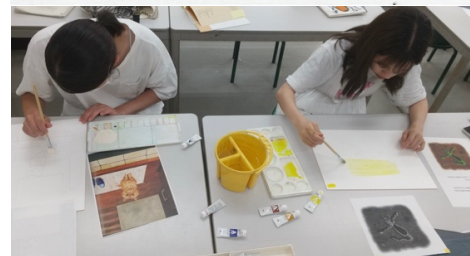


図6. 水彩絵具、アクリル絵具、色鉛筆、マーカー、パステル使用

(5) 造形B

クレパス画の基礎

2023年度 保育科三部2年生 造形B			
テーマ	クレパスを使った描画技法を学ぶ。		
ねらい	今日はクレパスを使い絵本『はらぺこあおむし』に登場する食べ物を描きます。はじめにクレパスの着色方法について説明します。次に、練習用紙の○と□などが書いてある紙に、黒のクレパスで輪郭をとります。黒のクレパスの輪郭線を少し触りながらその内側色をクレパスでゴシゴシとカスが出るくらい塗り込みます。混色やグデーションを楽しみます。爪楊枝で少し傷をつけたり、影をつけたり、パステルをまぶして納得がいくまで立体感やリアル感を表現していきます。その後、好きな果物や野菜、食べ物を描きます。		
準備物 (学生)	クレパス		
準備物 (湯田)	練習用サンプル、練習用の紙、鉛筆、パステル、網、爪楊枝、モチーフ、マープルクレヨン、はらぺこあおむし大型絵本		
手順	10分	説明	クレパス画の描き方、応用(さつまいも、モチーフを見て描く、マープルクレヨン、大根、チョークアート)
	15分	クレパス画の練習	①○と□の練習用サンプルの紙に黒のクレパスで輪郭をとる。 ②その内側を好きな色でゴシゴシと着色する。 ③クレパスを指で擦って影をつける。
	50分	はらぺこあおむし	①用紙を配布する。 ②黒のクレパスで輪郭線を描く。 ③内側の色(3色程度)をのせる。表面の色のクレパスでゴシゴシとカスが出るくらい塗り込む。 ④爪楊枝で少し傷をつけたり、影をつけたり、土(パステル)をまぶして立体感やリアル感を表現する。
	10分	応用	湯田が説明をします。※時間があればクッキーに貼る。
	5分	終了	片付け。振り返りレポートはmanabaで行います。※次回の課題の持ち物の説明(ココロゲーム)

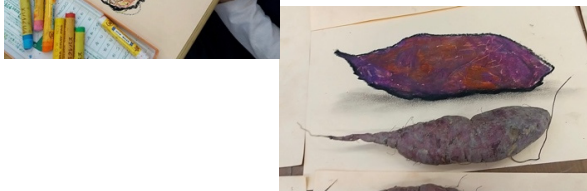
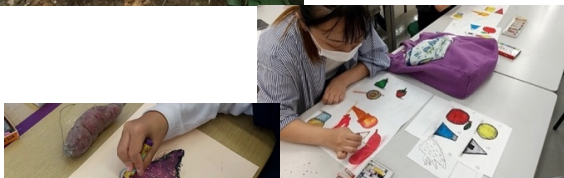


図7. クレパス使用

(6) 保育内容・表現

錯画期(3歳未満)の描画

令和5年度 保育内容「表現」 造形			
第8回			
テーマ	体験が生む、錯画期(3歳未満)の造形表現 いちごがいっぱい!クリスマスケーキを作ろう。		
ねらい	偶然破いた紙を観察したり、版にした絵の具に模様をつけ線や色を楽しみます。直感や偶然を感じ取り想像力を養いながら、様々な形や色が持つイメージからエネルギーやバランスを感じ取る大切さを学びます。心のうちにある具体的なモノを喚起することを狙いとします。 ①いちごがいっぱい ②クリスマスケーキを作ろう 子どもはお話ししながら思いながら、形が語りかけてくる言葉を理解養とする気持ちが生れます。なぞなぞ遊びの様に思いながら、感じたことや考えたことを次々に描いていきましょう。2つの作品を1つに合体し、お話しごっこを表現遊びへと繋げます。		
準備物 (学生)	クレパス、教科書		
準備物 (湯田)	絵の具(白)ヘラ、ローラー、トレイ、カラーペーパー、のり、割り箸、下紙、コピー紙、サンプル、付箋		
手順	時間	挨拶	概要説明
	15分		教科書p99~100、形の意味、クレパスの使い方、いちごの観察、簡単な版の技法、作品提出について。
	20分	制作1	①下紙の上にコピー紙をおく。 ②クレパスの蓋にいちごの色のクレパスを選んで出す。 ③裏表にクレパスで着色する。※ゴシゴシとカスが出るようにマテールをイメージしながらクレパスで塗る。 ④いちごを表にしていちごの形をイメージして手でちぎる。 ⑤ヘタの部分をおる。※捨てることなく大きな形も小さな形もいちごに変身させる。 ⑥クレパスの蓋に入れて保管。
	30分	制作2	①ボールに絵の具(白)と糊を混ぜる。 ②トレイ、ローラー、割り箸、作品(いちご)をセットする。 ③カラーペーパーを選び、版コーナーでケーキを作り、座席でいちごをトッピングする。 ④乾燥、裏に氏名を書く。
	20分	展開	①ケーキの商品名を考える。 ②作品をスマホで撮影し、商品名とともにmanabaのレポートに提出する。 ③お話しごっこの展開を友達と行う。
	5分	終了	片付け。

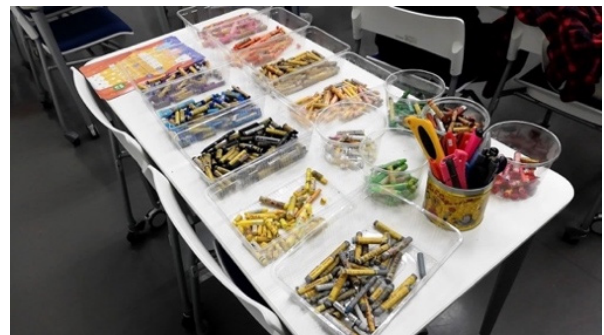


図8. クレパス、ポスターカラー使用

2. 就学前園児・職員研修での考察 (A市幼稚園)

(1) 絵画(ダイナミック画)指導

テーマ	持続可能な世界への第一歩・SDGs 世界地図の大作&ゴミ問題からリサイクルについて学ぶ	
SDGs	<p>貧困、飢餓、気候変動、感染症、人類は、これまでになかったような数多くの課題に直面しています。このままでは、人類が安定してこの世界で暮らし続けることができなくなると心配されています。そんな危機感から、世界中のさまざまな立場の人々が話し合い、課題を整理し、解決方法を考え、2030年までに達成すべき具体的な目標を立てました。それが「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」です。</p> <p>持続可能とは、何かをし続けられる、ということです。SDGsは、私たちみんなが、ひとつしかないこの地球上暮らし続けられる「持続可能な世界」を実現するために進むべき道を示したナビのようなものです。人類はいま、そのナビが示す方向に進んでいるのでしょうか?自分自身はどうでしょう?</p> <p>さまざまな社会の課題とSDGsとのつながりを知り、「持続可能な世界を築くためには、何をしたらいいだろう?」「SDGsの達成のために、自分はどんなことができるだろう?」ひとひより、みんながそれぞれ考えて、行動することが大切です。SDGsを今年度のテーマとし、遊びを通して解決のヒントを見つけたいと思います。</p>	
14.海の豊かさを守ろう	<p>私たちが使っているペットボトルやビニール袋などのプラスチックゴミが年間800万トン、海に流れ出しています。今日、私たちは毎年3億トンのプラスチックゴミを生み出しており、この量は、世界中の人々の体重を合計したものとほぼ同じ量になります。もし、人類がこのままのペースでプラスチック製品を作り、使い、捨て続けると、2050年には、魚の数より多いプラスチックが海を漂うこととなります。</p>	
ねらい	<p>今日は絵の具を使って大きな世界地図をみんな協力して制作します。世界の国や海、山、気候などについて考えながら手のひらや指を使って絵の具を広げます。経験しながら進んだのイメージで世界地図の上をかきまします。途中、ナイロンロールを剥がし好きな国を浮かべスタンプ技法で制作します。ナイロンロールを戻すときに開閉にお開閉ポーズをもらいながらナイロンをはたかせ仮空をイメージした観察を行います。最後に全員で壁を飾りほめて完成です。※フィンガーペイントに近い内容ですが絵の具がなるべく身体につかない内容となります。</p>	
準備物(画)	絵の具(青、緑、黄、赤、白)のり、両面紙 8つ切りの半分(四)ブルーシート、新聞紙、白紙、リサイクルゴミ、洗濯機、お布紙、セロテープ、養生テープ	
準備物(室)	ハサミ、ボール、水のり、プテプラ、ナイロンロール、霧吹き	
手順	<p>5分 挨拶 挨拶、挨拶、挨拶、リサイクルについて、絵本鑑賞</p> <p>準備</p> <p>30分 制作 大作</p> <p>10分 制作 大作</p> <p>5分 終了 振り返り、発表『楽しかった制作内容』</p>	<p>①室内にブルーシート、新聞紙、プテプラ、ナイロンロールの順に広げる。 ②世界地図をイメージする絵の具をボールに写す。(青、緑、赤、白)</p> <p>③好きな色をプテプラの上に乗る。新聞紙やクイズ紙をしながら丸まら行方。 ④のり(黄)や水(黄緑)を作業に加える。</p> <p>⑤作業の1にナイロンロールを戻せる。※事前に両面にセロテープを貼るのを済ませる</p> <p>⑥世界地図をイメージしながらナイロンの上から手のひらや指で絵の具を広げる。 ※新聞紙、新聞紙、赤くはたかワークシヨップに貼る。</p> <p>⑦ナイロンとプテプラを丁寧に剥がし広げる。多量に剥がれカチカチなナイロンロールを脱ぎ取り、優しく剥がし剥がすワークシヨップに貼る。</p> <p>⑧お気に入りの箇所を選び、指先でプテプラに押しつけてスタンプする。</p> <p>⑨乾かす</p> <p>⑩お話を配布し、全員でプテプラとナイロンロールに指先を飾り広げる。</p> <p>⑪プテプラとナイロンロールを返す。その上好きな色をゴミやリサイクル品を書く。</p> <p>⑫リサイクル回収ボックスを準備、分別して入れる。</p> <p>⑬発表しながらお話を聞かせる。</p>

(2) 絵画指導について事前質問、応答

●汚れるのが嫌なのか、感覚が嫌なのか分からないが絵の具を触ることを拒否し、泣いてしまう幼児がいます。そのような子が、絵を描くことが楽しい、やってみたいと思えるようになるには、どのような段階、遊びを提供していけばよいのでしょうか。

→バブルアート(一部分ワークシヨップを行います) / 絵の具、8つ切画用紙、ストロー、はさみ
デカルコマニーのお面(2種類)(一部分ワークシヨップを行います) / 絵の具、8つ切画用紙

●絵を描くことへの苦手意識がある幼児に対して、絵画指導の仕方を教えていただきたいです。また、子どもが楽しく取り組める技法等がありましたら、教えていただきたいです。

→サンプル作品(ペタペタフレーム)を見ながら説明します。

●絵が映える画用紙の色の選び方。

→サンプル作品(はらぺこあおむし)を見ながら説明します。

●絵の具の色の選び方。濃さ、溶き方。

→サンプル作品(三原色でもやしを描く)を見ながら実演します。

●筆や道具の選び方。

→実物をお見せします。

●年齢に応じた経験させておきたい絵画の技法はありますか。3歳児での経験が、4,5歳とつながっていき、絵画遊びの幅が広がる等分かれば嬉しいです。

→【実践】いろいろの本〜の釣り堀遊び/水彩道具一式、8つ切画用紙、ハサミ、モール1本、目玉シール(1,2個)ブルーシート

●絵画遊びをする時の年齢や遊びに合った人数などはありますか。クラス全体で取り組むか、少人数でじっくりかかわりながら描かかすのか悩みます。

→サンプル作品(つづきの国の地図づくり)を見ながら説明します。

●一つの題材(例えば、絵の具を使って何かを描く)から、子どもがそれぞれ自分で考えて工夫する為の幅を広げるには、どんな、準備の一工夫ができるのか、知りたいです。

→【実践】いちごがいっぱい、きってやぶいてよくみて/クレパス、ハガキサイズの画用紙、8つ切画用紙

●5歳児でできる、ダイナミックな共同制作があれば知りたいです。

→植物画! ジャックと豆の木(一部分ワークシヨップを行います) / 水彩道具一式、クレパス、ロール紙



図9. 絵本による導入



図10. 水彩絵具使用

3. 子ども絵画教室での考察 (K市小学生)

(1) 絵本の模写を軸とした絵画教室、指導



図 11. 鉛筆、色鉛筆、水彩絵具、固形絵の具、マーカー、アクリル絵の具、墨汁使用

4. 幼児画展での審査と講評

(1) 審査風景と講評 (K市)

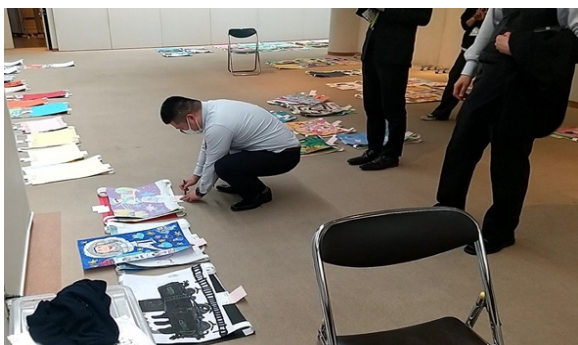


図 12. 幼児画展審査の様子



トナカイのソリにのったサンタクロースが そらをとび、大きなゆきだるまが ほほえんでいますね。

さくひんぜんたいから、キラキラしたひかりや かぜのほうこうを感じる 美しい作品です。

とくにパステルカラーの絵の具と はいけいのパープル色の いろがようしの 組みあわせに、こせい（こだわり）が つよくつたわりました。

サンタさんの目だけ くらくめられているところから、しっかりと目をあけて、おしごとにしゅうちゆうしているのかもしれないね。

教育長賞
浜の宮幼稚園 やまだ ひまりさん
『プレゼント まっててね!』
講評 渡田 知美

ちからづよく右から左へ はしるきかんしゃですね。
モクモクと出る けむりの方向や いろんな線の タイヤのかきこみから、走っている時の 大きな音が 伝わってきそうな力作です。

モノクロ（くろ色、しろ色）のみで 仕上げられた作品ですが、その間の 灰色グラデーションにより、りつたい感やしつ感、ちからづよさが 表現できています。

せんろのすきまに しきつめてある石などを かんさつし、つかすると さらに、きかんしゃが ちからづよく走っているようすが 伝わりますよ。

市長賞
おそろ保育園 にしもと ゆうしさん
『じょうききかんしゃ』
講評 渡田 知美



どこまでもつづくうちゅうに ロケットを打ち上げ、その中や外を たのしみようすが 描かれていますね。

つきぬけるような うちゅう色のコバルトブルーが ほしや うちゅうふくの 色を きわ立たせています。

うちゅうりょこうに行ける日が すくそこまで来ているような ワクワク感が 伝わる作品です。

うちゅうは、むじゅうりょくくうかんです。

いろんなほうこう（よこ向きや さかさ向き）のものをえがくと フワフワと ういているひょうげんが 生まれますよ。

議長賞
宝殿保育園 はらだ さやかさん
『うちゅうたんけん』
講評 渡田 知美



図13. 幼児画展講評、表彰式の様子

(2) 審査風景と講評 (N市)

NO	学年	講評	画風
1	中学生	幾何学的なカラフルな図形とブルーの吹き流しのコラボレーションが美しい作品です。線の力強さと柔らかさのバランスも心地よく、背景の画用紙が光って見える不思議な作品です。更にマーブリングやデカルコマニーなど技法をふんだんにと入れ、作品に重ねたシリーズにするなど自己表現の世界が広がりますよ。	図形、抽象
2	3年	赤いモコモコに囲まれてアヒルの親子や蝶のつがいが見え隠れしています。物語の場面や動きを感じる作品です。動物たちの視線からどのような思いや言葉が出てくるのかを想像してしまいます。鳥さんはハネとクチバシ、目、水かきに分かれています。それぞれ触りごこちが違うのでそのあたりを意識して挑戦してみてくださいね。	アヒル、具象
3	1年	海の深い色が美しく、そこにフワフワとたくさんのクラゲさんが気持ちよさそうに泳いでますね。クラゲさんのやわらかく透明な部分の線や色使いが素晴らしいです。海水をいっぱい吸いこんでますね。背景で白い泡の円についてですが、スポンジのような柔らかい素材と水を使い円の中を混ぜるとさらに「水」を描けますよ。挑戦してみてください。	深海、クラゲ、具象
4	年長	よく観察されたチョウチョが真ん中にハネを広げ今にも飛び立ちそうです。背景の空も丁寧に最後まで塗られて集中力もあります。チョウチョが大好きなお花も美しく、どの花に飛んでいこうか迷ってますね。色の強い黒と優しく明るい色とのバランスが素晴らしい作品です。来年もがんばってくださいね。	蝶、具象
5	年少	おおきな、おおきないちごがまんまにドーンと描かれていますね。いちごのタネも白色でたくさん付いています。タネの形やへこみ方も観察できている素晴らしい作品です。口に入れた時のいちごの味やわかさはどうでしたか？その気持ちをパステルのような柔らかい画材で表現しても良いかもしれません。	いちご、具象



図14. 子ども絵画展審査講評、表彰式の様子

5. 絵画遊びでの考察 (A市保育園)

(1) 植物画の基礎と応用

第3回 4歳児				
テーマ	植物画！ジャックと豆の木			
	意味と表現の世界について学ぶ			
ねらい	植物を絵具とクレパスを使って描きます。 絵具を使う前に、準備体操として指や手首、肘、膝をうごかしながらクレパスで『ぐるぐる』を描きます。 植物の成長を感じながら枝、葉、花や実の順に描きます。 茎（クレパス）枝（クレパス）葉（丸筆と絵の具）実や花（クレパス）で個人作品を仕上げます。大作として長いロール紙にジャックと豆の木をイメージしながら協力して制作します。			
準備物（画）	コピー紙（B4サイズ一人2枚）クレパス、絵の具（緑、黄色、青）、パレット、筆洗、画用紙8つ切り、台拭き、模造紙（白）			
準備（満田）	丸筆、サンプル、ドライヤー、刷毛、パステル			
手順	時間	説明	工程	ぐるぐるお絵描き（紙）植物の仕組み、写生
	5分	制作	ウォーミングアップ	紙とクレパスを使い体の機能を確認しながら「ぐるぐるお絵描き」をする。
			植物画	①植物の観察。 絵の具のセット（丸筆、筆洗、丸皿）※グラデーションや混色を楽しむ。 ②練習用紙に茎（クレパス）→枝（クレパス）→葉っぱ（絵具）の順番に練習する。※スタートを太く、ゴールを細く描く。 ③画用紙に清書をする。（花や実を想像してクレパスで付け加える）
			ジャックと豆の木	長いロール紙に太い刷毛を使い大きな豆の木を描きます。（満田）
			仕上げ	枝と葉は子ども達が自由に描きます。パステルや綿を使いジャックと豆の木を再現します。
	5分	終了	記念撮影	片付け、発表『頑張ったところ』

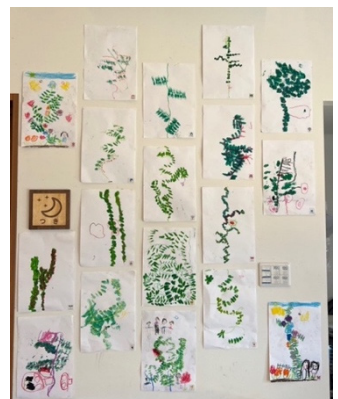


図15. 水彩絵具、クレパス、パステル使用

6. 日本画技法 (箔)

(1) 制作工程 『夜空を描く』

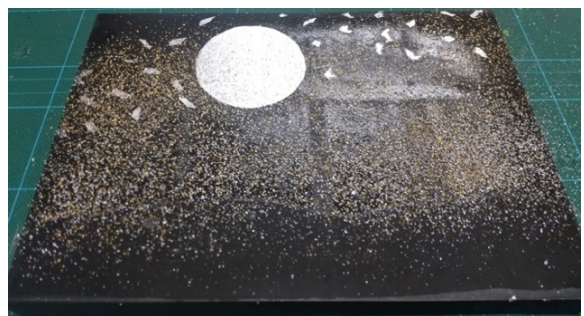
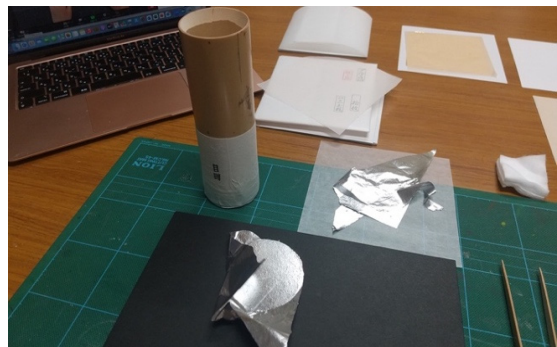


図16. 金箔、魚膠、アルギン酸ナトリウム使用

参照：PIGMENT TOKYO

日本画技法（墨、顔料、箔）

(2) 制作工程 題名『BLACK BLUE・GREEN・PINK』





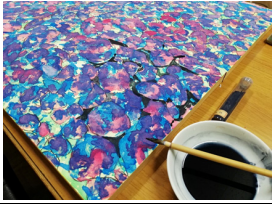


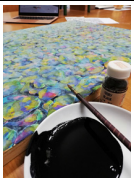


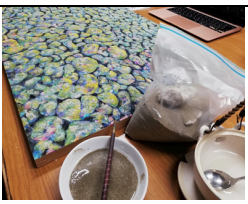

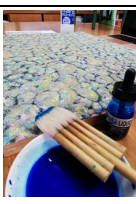


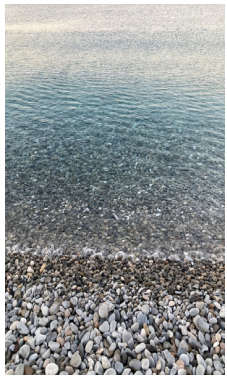
		
<p>1. モチーフ 紫陽花</p>	<p>2. 下描き 1</p>	<p>3. 基底材 下塗り</p>
		
<p>4. 下塗り 紅</p>	<p>5. 下塗り 墨</p>	<p>6. 下塗り 黄</p>
		
<p>7. 下塗り 鼠</p>	<p>8. 乾燥 1</p>	<p>9. 下描き 2</p>
		
<p>10. 墨入れ</p>	<p>11. 乾燥 2</p>	<p>12. 本塗り 砂 1</p>
		
<p>13. 本塗り 砂 2</p>	<p>14. 乾燥 3</p>	<p>15. 本塗り コバルトブルー</p>
		
<p>16. 乾燥 4</p>	<p>17. 完成</p>	<p>13. エスキース</p>

表1. 日本画 制作工程

参照：青木芳昭研究所

(3) 制作工程 題名『BLACK BLUE・GREEN・PINK』


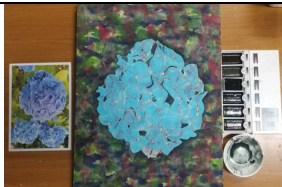
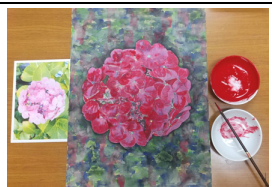






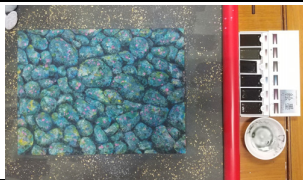
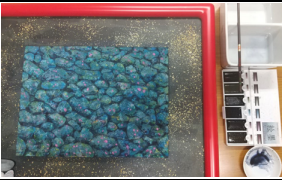
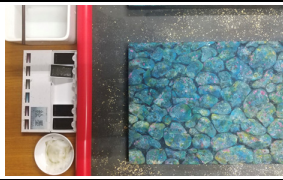
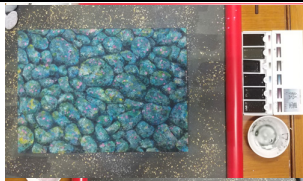



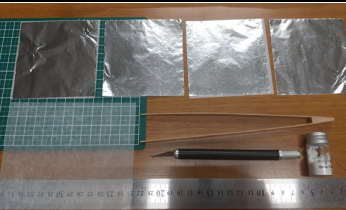




		
1. 基底材制作 下塗り 紅	2. 背景 墨1	3. 下塗り 紅
		
4. 背景 墨2	5. 描きおこし 墨	6. 本塗り 顔料ベース
		
7. 本塗り 墨	8. レイアウト	9. 描きおこし 墨
		
10. 描きおこし 墨1	11. 描きおこし 墨2	12. 描きおこし 墨3
		
13. 描きおこし 墨4	14. 描きおこし 墨5	15. 乾燥
		
16. 箔貼り、砂子準備	17. 箔貼り、砂子材料	18. 箔貼り
		
18. 描きおこし 顔料ベース赤	19. 描きおこし 顔料ベース 緑	20. 完成

表2. 日本画 制作工程

参照：青木芳昭研究所

7. 成果発表

(1) セレクト展 (神戸市)

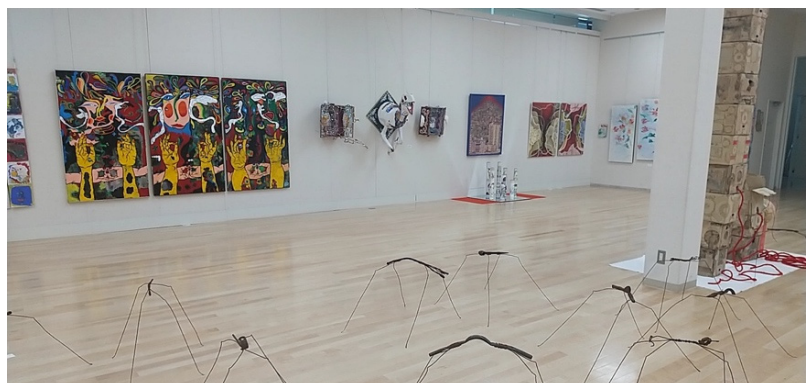
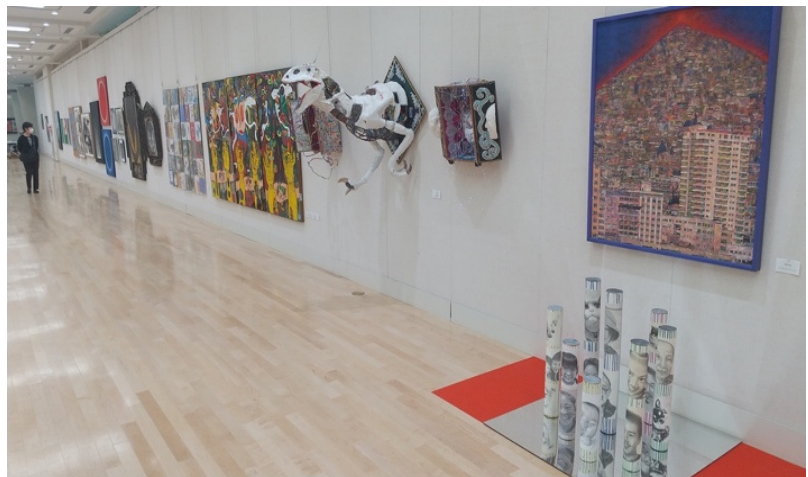
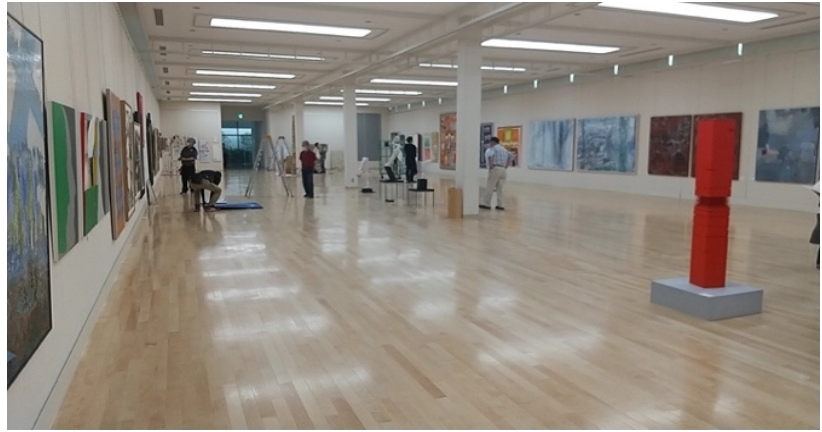


図17. 岩絵具、墨、岩絵具、胡粉
顔料ベース使用

(2) 喜楽会 (京都市)

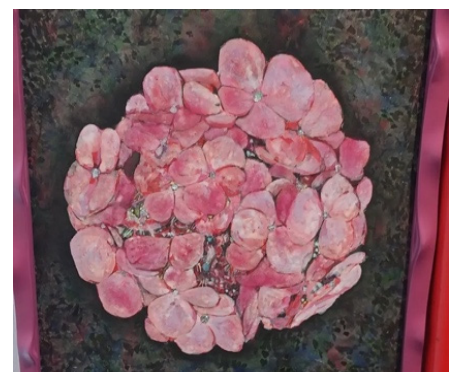
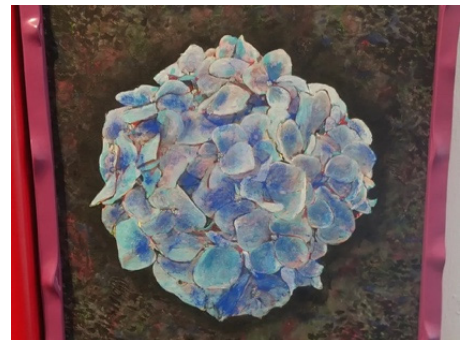


図18. 岩絵具、墨、岩絵具、胡粉、顔良ベース、墨、魚膠使用、アルギン酸ナトリウム使用

IV. 結論

造形表現をする上で画材・素材の特徴や扱い方を正しく知ることによって選択の幅ができる。それらに技法がプラスされるとイメージする自己表現の世界に向かうことができる。

今年度は色彩による描画を中心に画材別の課題や作品で検証を行なった。

養成校の実技授業では基本となる三原色、混色、補色、グラデーションの基本指導を丁寧に行い、モチーフそのもののマチュール表現や造形遊びにつながる色の効果を確認した。

職員研修では、社会的テーマ（SDGs）からの視点より国際色豊かな制作を実施した。

保育現場では、実施する市や園、年齢別に同じテーマで制作し発達の違いと理由、それらに伴う課題を見つけることができた。

幼児画展の審査と講評では、2会場で1800点もの作品の中から受賞者の選出を行った。新型コロナウイルス感染症の期間を乗り越え日常が戻り始めた今年度は、こども達の作品にも大きな変化を感じた。身体全身で大きなポーズや自然や行事を十分に楽しむ姿が題材とされていた。色彩も豊かなものが多く賞の選出に時間を費やした。

仮説としていた「見たまま描く、ダイナミックに描く＝上手」という概念については、イメージ通りに描画表現ができたと同時に色彩がプラスされることにより更に印象が強く伝わる表現となる。

最後に自己表現の素材としては「墨と箔」を中心に研究を行なった。色彩の本来の強さをより引き立たせるには、対極のモノクロ表現と光の扱われ方の理解が必須ではないかと考える。

V. 課題

上記の色彩基礎を軸とし、今後「基底材」の選択による表現効果と制作内容の多様性について論じたい。

更に保育所保育指針の構成「第2章 保育の内容」に示されている5領域（子どもの総合的な心身の発達のために保育所が目指す目標「健康」「人間



図19. 色材

関係」「環境」「言葉」「表現」)を軸に活動内容を整理していきたい。

【参考資料・関連文献】

青木芳昭 著

『絵画素材の科学 よくわかる今の絵画材料』
生活の友社 2011

SUMMARY

Diversity of Expressive Effects through the Selection of Picture Materials and Materials from the Actual Conditions of Childcare Sites (Creative Formation) <Color Basic>

Tomomi Mitsuda

This notebook describes how to handle “painting materials” and their diversity to promote creative childcare. “Color basics” were extracted from the themes presented in the previous issue of Hyogo University Editorial No. 29. In the first half, we report on techniques and teaching methods that use crepus and water-colored paints as the basis for coloring materials. In the latter half of the report, we discuss the production process and announcements regarding Japanese paintings.

Keywords: Japanese Art, Picture Expression (Color Foundation)

